

農事組合法人田尻アグリワーカーズ



1 現在の活動状況等

(1) 経営理念、目標

- 自然環境へ配慮しながら、持続可能な農業の確立と、地域の多様な人材が農業の担い手として活躍できる農業生産の場づくりを目指す。

(2) 生産技術の特徴

- 農業や化学肥料の削減に取り組んでいる。「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」において、農業化学肥料節減栽培（トマト、ミニトマト、他）、農業化学肥料不使用（露地きゅうり）の認証を受けるほか、「大崎市世界農業遺産野菜認証」（トマト、みずな、こまつな 他）も受けている。
- ハウス内の暖房に廃食油（使用済み天ぷら油）、トラクターに廃食油から精製したバイオディーゼル燃料を使用することで、地球温暖化に配慮した農業に取り組んでいる。

(3) 販売面の特徴

- 生協への産直販売が大半を占めており、加えて店頭直売や地元の学校給食にも利用されている。

(4) 経営組織の特徴

- 農業と福祉の連携によって、障がい者や引きこもり経験者など、多様な人材が活躍できる農業を目指している。引きこもり経験者等の職場体験を受け入れ、農業に関心を示す者を社員として雇用している。また、福祉事業所を通じて、障がい者に出荷用パックへのラベル貼りなどの作業を委託している。
- 生協関係者及び消費者との交流を積極的に行い、フェイスブックを使った農業生産現場の情報発信を

継続することで、環境保全型農業への理解の向上に努めている。

また、大学のゼミによる見学や調査、首都圏の修学旅行生の農業体験に協力し、次世代を担う若者へ食の大切さや農業への理解醸成にも努めている。

(5) 労務管理の特徴

- 就労に困難を抱えた若者を支援する「若者サポートステーション（サポステ）」や、生活困窮者自立支援制度に基づき大崎市が設置している相談窓口と協力し、職場体験を受け入れるとともに、就農希望者を受け入れ、延べ5人を雇用している。

(6) 経営管理の特徴

- 組織経営のノウハウを有するワーカーズコープより指導を受けながら、確実な労務管理・経営管理に努めている。

(7) その他、特筆すべき事項

- 福祉事業所の利用者の収穫体験や、地元小学校の児童の課外学習や農作業体験に協力することで、地域社会とのつながりを図っている。

2 法人設立までの変遷

(1) 法人設立までの動機、きっかけ

- 障がい者や引きこもり経験者など、一般企業での就労が馴染まない人であっても、農業の職場で活躍や新たな担い手として育成できないか。このことを担い手の高齢化により継続が厳しくなっている農業を地域で残す選択肢の一つとしたい、そのような思いを抱えていた。

経営のプロフィール

経営概要

トマト、ミニトマト、なす、みずな、ほうれんそう、こまつな、ブロッコリー、水稲
経営面積 0.6ha

主な施設・機械の保有

- ビニールハウス5棟、鉄骨ハウス2棟（借用）
- トラクター1台
- バイオマス暖房機4台、暖房機4台（うち借用2台）

構成員等

- 組合員：6名
- 役員（代表理事、理事）：2名
- 従業員（常時雇用）：4名

法人設立年月日

平成27年2月12日

出資金

100万円

販売額等

販売額：1,400万円

役員名

代表理事：佐々木 洋志
理事：佐々木 陽悦



- そのためには個人経営やNPO法人として取り組むのではなく、農業法人を立ち上げる必要があると考え、法人設立を決意した。

(2) 法人化に至る経過等

- 平成27年に大崎市内の農業者と、福祉事業を行う日本労働者協同組合連合会センター事業団（ワーカーズコープ）が出資し、環境へ配慮した新たな農業のモデルづくりと、引きこもり経験の長い若者や障がい者等が活躍できる農業の職場づくりを目指し、法人を設立した。

(3) 法人化後の評価

- 法人として施設園芸に取り組むことで周年栽培が実現でき、社員が年間を通じて農作業を行い、毎月一定の給料を支払う体制を整えることができた。

3 今後、将来に向けてのビジョン等

(1) 将来ビジョンと経営戦略等

- 労働者協同組合（ワーカーズコープ）と連携し、障がい者等の就労支援事業を計画している。農業では多種の作業があるため、作業それぞれを切り出して、障がい者一人ひとりの得意分野を生かせる可能性がある。福祉事業所へ当法人の農作業を委託して、様々な人々が力を発揮できる体制を構築したい。
- 障がい者や引きこもり経験者を新たな担い手として育成し、当法人に留まらず彼らが地元農業者をサポートすることが、高齢化により継続が難しくなっている地域農業を維持継続していく一助となることを願っている。

(2) 達成へ向けた課題及び取り組み状況

- 福祉制度の動向を注視し、農業分野でも活用できるものを探求している。農業と福祉が連携することでビジョンの実現を目指している。

（調査 美里農業改良普及センター）

略図



農事組合法人田尻アグリワーカーズ

〒989-4413

大崎市田尻通木字山崎102番地

TEL：0229-25-5275 FAX：0229-25-5276

Eメール：tajiriaguri@roukyou.gr.jp

Facebook：

<https://www.facebook.com/tajiriaguriworkers/>

視察受入条件 受入可

視察目的を明確にしたうえで、普及センターを通じて御相談下さい。

連絡先：美里農業改良普及センター

先進技術班 TEL：0229-32-3115